

謹啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本県の教育行政の推進につきましまして格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、昨年度は、県内新規高等学校卒業予定者に対して一件でも多い求人と一人でも多くの採用をお願いいたしましたところ、格別の御配慮をいただき、誠に有り難うございました。

お陰をもちまして、本県高校生の平成二十一年一月末現在の就職内定率は九十四・五％と、全国平均八十七・五％に対して高い水準となりました。

しかし、昨年度の米国リーマン・ブラザーズの破綻に端を発する世界同時不況の影響は深刻で、雇用情勢の急激な悪化により、平成二十一年三月一日までに事業所から内定取消しの通知を受けた高校生は全国で三百十四人に上ります。県内においても一人が県外企業から内定を取り消されたほか、十四人に対して職種や就業場所など条件の変更がありました。三重労働局から発表された平成二十一年一月の有効求人倍率は〇・六九倍で昨年同時期（一・三九倍）から半減しているうえ、総務省から発表された平成二十一年二月の完全失業率は四・四％（昨年同時期三・九％）、完全失業者数は二百九十九万人（昨年同時期二百六十六万人）で四ヶ月連続して増加しており、非常に厳しい状況になっています。

このような危機的状況の中、各県立高等学校及び特別支援学校におきましては、基礎的・基本的な学習を重視し、社会の変化に主体的に対応し、自ら判断し行動できる生徒の育成に取り組みとともに、望ましい勤労観・職業観の育成に努めております。またその中で、生徒たちは希望と意欲に燃えて職業選択を行い、各自の目標の実現に向かって充実した学校生活を送っているところ です。

しかしながら個々の企業においては、即戦力志向の高まりや業務の高度化に伴い経験者採用や中途採用、さらには外部委託等の比重が高まり、新規卒業者の採用募集は大幅に抑制されることが予想されます。更に、定型の業務については正規雇用からパート・アルバイト等へ切り替えられ、障がい者や外国人など社会的弱者の採用枠が狭められるのではないかと懸念されております。

本県におきましては、平成十九年度から「学校・地域との協働によるキャリア教育実践事業」において、実践的な職業能力や主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けるため、組織的・系統的なキャリア教育を推進しています。また、就職を希望する生徒の進路実現が図られるよう就職支援教員や就職支援相談員を配置し、求人開拓をはじめとする就職支援に取り組んでいくところ です。

我が国の将来を担う県立高校生・特別支援学校生が、本人の努力の及ばない要因のために社会人としての第一歩を不本意な状態で踏み出さざるを得ない事態を回避し、彼らの就業をしっかりと保障していく必要があると考えます。

貴会所属の各社におかれましては、地域産業の担い手を地域の企業が育てるといふ視点から、県立高校生・特別支援学校生の採用枠の維持・拡大と一人でも多い採用についてご検討頂きますよう、切にお願いいたします。

何とぞ私どもの心情を御賢察のうえ、格別の御理解、御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、貴会の益々の御発展をお祈り申し上げます。

敬 白

平成二十一年陽春

三重県中小企業団体中央会会長 様

三重県教育委員会教育長

向 井 正 治

